

教育長定例記者会見

日時：令和3年4月14日（水）11：00

場所：教 育 委 員 会 室

<広報事項>

○令和3年4月－5月の広報事項<教育委員会>

・・・・・・・・2

<話題提供>

○令和3年度 滋賀県教育委員会の重点施策について

【別添】保護者向け情報誌「教育しが」

○学ぶ力向上滋賀プラン 令和3年度(2021年度)取組の重点について

・・・・・・・・3

【別添】リーフレット

○子ども読書活動推進事業 おすすめ本ポスターの作成・配付について

・・・・・・・・4

令和3年4月～5月の広報事項＜教育委員会＞

日時（期間）	タイトル	内容・会場 参加料（有料・無料の別）・事前申込の有無等	所属 （課名、室名、 機関名、学校名）	問い合わせ先 （担当者名、電話・ 内線番号）
① 学校行事、募集等				
5月11日（火） 9:30～10:00	令和3年度 学習船「うみの こ」落水者救助 訓練	学習船「うみのこ」からの落水者を想定し、高速艇による救助を乗船者の連携によって安全かつ迅速に行えるよう訓練を行います。 場所：大津港（大津港から堅田沖にかけて航行中の「うみのこ」および付近の湖上）	びわ湖フロー ティングス クール	中瀬 真一 077-524-8225
5月24日（月） 9:00～9:20	令和3年度「湖 の子」出航式	令和3年度学習船「うみのこ」によるびわ湖フローティングスクール児童学習航海の開始にあたり、乗船児童の航海への意欲を喚起するとともに、安全な航海の実施を誓う「出航式」を開催します。 会場：長浜港 【雨天、荒天時】学習船「うみのこ」船内（長浜港停泊）	びわ湖フロー ティングス クール	中瀬 真一 077-524-8225
② 研修・会議等				
4月19日（月） ～5月31日 （月）	PTA会長等代 表者研修会の開 催	子どもの豊かな育ちを支えるPTAの取組ならびに家庭教育の重要性を再認識するとともに、家庭や地域と学校が連携・協働する関係を築き、社会総掛かりで子どもの育ちを支える環境づくりを推進します。 実施方法：オンデマンド配信による研修 内 容：①情報提供 県教育委員会事務局 ②事例報告「日野町立日野小学校PTA活動」 ③講演「子どものみらいのために、私たちができること」NPO法人 まちと学校のみらい代表 理事、文部科学省CSマイスター 竹原和泉氏 配信対象：各校園PTA関係者	生涯学習課	山浦 良平 077-528-4654 （内線4654）
5月25日（火） 午前中予定	高・特別支援学 校人権教育校長 研修会	学校において人権教育を推進していくため、本年度の重点を理解するとともに、校長としての識見を高め、指導力の充実向上を図る研修を行います。 会 場：県庁東館7階大会議室 対 象：県立学校長 私立中等教育・高等学校長の希望者 テーマ：性の多様性（仮） 講 師：NPO法人NAAH理事 川西 寿美子さん	人権教育課	新田見 隆 077-528-4593 （内線4593）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、掲載している催し物が中止・延期になる可能性があります。事前にお問い合わせください。

令和3年度（2021年度）取組の重点について

○ 作成のねらい・内容

「第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン」の取組の重点として作成し、県内全ての公立学校で取り組んでいくための資料

【視点1】 学びを実感できる授業づくり

- 子ども一人ひとりの学びの状況に応じた**基礎的・基本的な知識・技能の指導の充実**
- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる「**読み解く力**」の視点を踏まえた**授業づくりの推進・充実**
- ★「個別最適な学び」や「協働的な学び」のツールとしてのICTの効果的な活用

【視点2】 学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

生徒指導の3機能を生かした学習集団の基盤づくりと授業づくりの充実

【視点3】 子どものために一丸となって取り組む学校づくり

OJTを活用した学校全体で組織的・継続的に実践する取組の充実

○ 配付の対象および配付数

公立の小中学校（県立含む）および義務教育学校、特別支援学校の教員に1部ずつ配付
県立高等学校、市町教育委員会などの関係機関にも配付 ※3月中旬に配付済

令和3年度（2021年度）
取組の重点

第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン（3年目）
子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図り、3つの視点において、次の内容を重点として「学ぶ力」向上の取組を進めます。今年度は、小学校に続き、中学校で学習指導要領が全面実施になることを踏まえ、視点1の取組を一層充実していきます。

視点1 学びを実感できる授業づくり

●子ども一人ひとりの学びの状況に応じた**基礎的・基本的な知識・技能の指導の充実** ◆「**主体的・対話的で深い学び**」の実現につながる「**読み解く力**」の視点を踏まえた**授業づくりの推進・充実** ★「**個別最適な学び**」や「**協働的な学び**」のツールとしてのICTの効果的な活用

POINT

- 学習・能力の育成に向けた「教科等の指導方針」を考慮する。
- 学習経験の充実を図り、子ども一人ひとりの学びの状況を的確に把握し、「わかった」「できた」につながるきめ細かな指導の改善を進める。

視点2 学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

生徒指導の3機能を生かした学習集団の基盤づくりと授業づくりの充実

POINT

- <生徒指導の3機能を>
- 自己存在感を高める。
- 自己決定の場をつくる。
- 異質な人間関係を構築する。

視点3 子どものために一丸となって取り組む学校づくり

OJTを活用した学校全体で組織的・継続的に実践する取組の充実

POINT

- 課題を具体化して明確にし、「教科等の学ぶ力向上」等を活用しながら、教職員全体の共通理解を促す。
- 取組について、確立する組織を確立し、検証・改善する手立てを具体化し、実践について定期的に確認する。
- 計画的・継続的に研修を実施し、実務を繰り返しながら教職員一人ひとりの自発的な成長を支援する。

滋賀県教育委員会事務局 幼小中教育課

視点2 生徒指導の3機能を生かした学習集団の基盤づくりと授業づくりの充実

子どもたちのよさを積極的に評価する教員の姿勢が、子どもの自己存在感や自己有用感を高め、失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦しようとする意欲の醸成へとつながります。

自己存在感を高める

- ・教材や資料の工夫により、全ての子どもたちが考えたいことを発言できる機会を設定する。
- ・積極的に発言できた子どもにはほめ言葉を、よき発言のしずらさを。
- ・黙ったままでも、積極的に受け止め評価する。
- ・誤答でも、発教したことを評価する。

自己学習の意欲を高める

- ・調べ学習や自分で考える時間を設定する。
- ・子ども一人ひとりに学習目標を立てる場を設定する。
- ・しっかりと課題に取り組むか、自分の考えを形成できるように支援する。
- ・自分の考えをまとめ、発表する場を設定する。
- ・子どもが主体的に学習に取り組む機会を積極的に創出する。

異質な人間関係を構築する

- ・異者を見て、意見を聞くように促す。
- ・多様な意見を認め合う習慣づくりをする。
- ・自分とは違う意見について、相手の立場に立って理解するよう促す。
- ・子ども同士でやりかたの違いを認めあう。子どもが互いの立場や考えを尊重し、違いを認めあえるように促す。

視点3 OJTを活用し、組織的・継続的に実践する取組の充実

監督業務のリーダーシップのもと、全ての教職員が、経験やビジョンを共有し、PDCAサイクルにより取組を確実に実施することが大切です。

【学校全体で組織的に】

- ・学校における取組の重点を明らかにして、継続的に取り組む。
- ・指導要領を参照し、校内の各学年・学年を踏まえて、組織的に実践的な取組を実施する。
- ・OJT推進リーダーやグループリーダーを中心とした体制を整えたり、メンター方式を取り入れた研修を実施したりしながら、教職員一人ひとりの取組の向上を図る。

【中学校・義務教育学校の仮定を単位として】

- ・総務・経理・保健ごとにも、小中学校間の教員との役割分担を実施し、幼小・小中連携の取組を進めよう。
- ・小中学校教員が互いに授業を参観し、研修や学びの機会を共有し、学びの力の向上を促すよう。

【学習指導と実践が一体となった】

- ・地域に密着した取組を進め、地域に密着した取組を進めよう。
- ・「学びの力」向上の取組内容等、地域・学校に密着した取組を進めよう。
- ・「学びの力」向上の取組内容等、地域・学校に密着した取組を進めよう。

令和3年度 令和2年度
「学ぶ力」向上につながる実践事例集
幼小中教育課

幼小中教育課
「学ぶ力」向上につながる実践事例集
幼小中教育課

お問い合わせ先：滋賀県教育委員会事務局 幼小中教育課 学ぶ力向上係 TEL 077-528-4665

子ども読書活動推進事業

おすすめ本ポスターの作成・配付について

教育委員会では、すべての子どもがいつでもどこでも楽しく読書ができる環境づくりを進め、子どもが楽しみながら自主的に取り組む読書活動を推進しています。

小学生・中学生それぞれの発達段階にあわせた本への興味・関心を広げる取組の一環として、県内公共図書館司書などが子どもたちに読んでほしい本を選び、「おすすめ本ポスター」として作成しました。小学生向けは昨年度に続き2回目、中学生向けは今回初めて作成したものです。

記

1 ポスターの種類

- ① 小学生1～3年生向け(掲載24冊)
- ② 小学生4～6年生向け(掲載23冊)
- ③ 中学生向け(掲載15冊)

2 掲載本の選定方法

- 県内公共図書館の司書や読書ボランティアなど、子どもの読書に関わる方々がポスター編集委員となり、県教育委員会がこれまでに作成した「読書啓発冊子(下記)」等から、ジャンル等のバランスを考慮して選定。
- 小学生向けポスターには、県内小学生から「みんなに読んでほしい本」として公募したおすすめ本数点を、紹介文とともに掲載。(1～3年生向け4点、4～6年生向け3点)

<参考：「読書啓発冊子」について>

- ① 小学生1～3年生向け啓発冊子 「ほんがいっぱい たのしさいっぱい」(平成31年版)
- ② 小学生4～6年生向け啓発冊子 「本がいっぱい 楽しさいっぱい」(平成31年版)
- ③ 中・高校生世代向け啓発冊子 「ホンタノ。」(平成30年改訂版)

3 ポスターの配付先

県内の小・中学校および義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校
県内公共図書館

4 配付時期

4月中旬予定

※4月23日「子ども読書の日」にあわせて配付します。

<今回作成したポスターのデザイン>



小学生 1～3 年生向けポスター



小学生 4～6 年生向けポスター



中学生向けポスター

滋賀県学習情報システム におねっと「子ども読書活動支援センター」に掲載しています。

<https://www.nionet.jp/dokusho/index.html>

※「子ども読書啓発冊子」もこちらでござんいただけます。

【二次元バーコードはこちら】

